

エジプトと日本の諺における女性像 比較研究^{*}

Safaa Nour
Faculty of Arts - Cairo University

概要

どのような国にでも、どのような言語にでも諺がある。諺は「ある社会の庶民の真実を反映する鏡である」と言われている。庶民の考え方や風潮が影響するばかりか、集団思考も形成するといえる。ことわざに取り上げられているテーマは多様である。その中の一つ、女性も数多く取り上げられた。社会の半分を占めている女性がエジプト社会でも日本の社会でも大きな役割を果たしている。本研究では、女性が両国の諺において

どのように取り上げられたか、ことわざを通して女性がどのようなイメージや役割をもっているかを明らかにしておきたい。つまり、妻、娘、姉妹、姑などの女性のあらゆる役割や社会的、経済的、文化的、知的なイメージを明らかにしておきたい。また、両国のことわざにおける女性像を比較し、それぞれの共通点と相違点を明らかにすることで、両国の文化や思想の相互理解を深めることに貢献する。

キーワード：諺、女性、女性像、比較研究

(*) エジプトと日本の諺における女性像比較研究 Vol.13, Issue No.2, April 2024, pp.75-96.

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

186

187

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

290

291

292

293

294

295

296

297

298

299

300

301

302

303

304

305

306

307

308

309

310

311

312

313

314

315

316

317

318

319

320

321

322

323

324

325

326

327

328

329

330

331

332

333

334

335

336

337

338

339

340

341

342

343

344

345

346

347

348

349

350

351

352

353

354

355

356

357

358

359

360

361

362

363

364

365

366

367

368

369

370

371

372

373

374

375

376

377

378

379

380

381

382

383

384

385

386

387

388

389

390

391

392

393

394

395

396

397

398

399

400

401

402

403

404

405

406

407

408

409

410

411

412

413

414

415

416

417

418

419

420

421

422

423

424

425

426

427

428

429

430

431

432

433

434

435

436

437

438

439

440

441

442

443

444

445

446

447

448

449

450

451

452

453

454

455

456

457

458

459

460

461

462

463

464

465

466

467

468

469

470

471

472

473

474

475

476

477

478

479

480

481

482

483

484

485

486

487

488

489

490

491

492

493

494

495

496

497

498

499

500

501

502

503

504

505

506

507

508

509

510

511

512

513

514

515

516

517

518

519

520

521

522

523

524

525

526

527

528

529

530

531

532

533

534

535

536

537

538

539

540

541

542

543

544

545

546

547

548

549

550

551

552

553

554

555

556

557

558

559

560

561

562

563

564

565

566

567

568

569

570

571

572

573

574

575

576

577

578

579

580

581

582

583

584

585

586

587

588

589

590

591

592

593

594

595

596

597

598

599

600

601

602

603

604

605

606

607

608

609

610

611

612

613

614

615

616

617

618

619

620

621

622

623

624

625

626

627

628

629

630

631

632

633

634

635

636

637

638

639

640

641

642

643

644

645

646

647

648

649

650

651

652

653

654

655

656

657

658

659

660

661

662

663

664

665

666

667

668

669

670

671

672

673

674

675

676

677

678

679

680

681

682

683

684

685

686

687

688

689

690

691

692

693

694

695

696

697

698

699

700

701

702

703

704

705

706

707

708

709

710

711

712

713

714

715

716

717

718

719

720

721

722

723

724

725

726

727

728

729

730

731

732

733

734

735

736

737

738

739

740

741

742

743

744

745

746

747

748

749

750

751

752

753

754

755

756

757

758

759

760

761

762

763

764

765

766

767

768

769

770

771

772

773

774

775

776

777

778

779

780

781

782

783

784

785

786

787

788

789

790

791

792

793

794

795

796

797

798

799

800

801

802

803

804

805

806

807

808

809

810

811

812

813

814

815

816

817

818

819

820

821

822

823

824

825

826

827

828

829

830

831

832

833

834

835

836

837

838

839

840

841

842

843

844

845

846

847

848

849

850

851

852

853

854

855

856

857

858

859

860

861

862

863

864

865

866

867

868

869

870

871

872

873

874

875

876

877

878

879

880

881

882

883

884

885

886

887

888

889

890

891

892

893

894

895

896

897

898

899

900

901

902

903

904

905

906

907

908

909

910

911

912

913

914

915

916

917

918

919

920

921

922

923

924

925

926

927

928

929

930

931

932

933

934

935

936

937

938

939

940

941

942

943

944

945

946

947

948

949

950

951

952

953

954

955

956

957

958

959

960

961

962

963

964

965

966

967

968

969

970

971

972

973

974

975

976

977

978

979

980

981

982

983

984

985

986

987

988

989

990

991

992

993

994

995

996

997

998

999

1000

1001

1002

1003

1004

1005

1006

1007

1008

1009

1010

1011

1012

1013

1014

1015

1016

1017

1. 諺の定義

ギリシャの哲学者であるアリストテレスは、紀元前300年代にすでに、諺を「手軽にして、受用し易きために、滅亡の悲重を免れし古知識の断片なり」と定義した[北嶋, 2021年]。

アラビア語も日本語もことわざの定義は多様である。諺という言葉の語源として鈴木業三は「言の枝、すなわち物をいう技術であるところから、コトワザといったとする」と論じた[北嶋, 2021年]。またアラビア語では、「諺 (Mathal) は物事の類であり、同じであるさまであり、物事の属性である (Almaany, 2018)」と論じられる。

『広辞苑』には、諺は「古くから人々に言いならわされたことば、教訓・風刺などの意を寓した短句や秀句」[新村, 2009]と定義された。『国語辞典』には「むかしからいひ伝えられている、教え、人間の知恵をふくんでいる短いことば」[監修村石, 1996]、『漢語林』には「昔から言い伝えられていて、簡単こうまくまとまっている文句、教訓や風刺の意を含んだものが多い」[鎌田米山演, 1999]、『大百科事典』には「民間において口頭で伝承されてきた定型的な言語表現の一つで、偶諺、俗諺ともいう。諺は本来、言の枝の意味で、広く言語の枝芸をさし、短い言葉で人を攻撃する言語の武器ともされていた。とくに諺は寸言であっても大きな教育的効果を有していた。巧みは諺で批評され、多勢のためで自分一人が笑えぬ立場だったことは、人並みを重んじた以前の村落社会では最も恥とされたのである。しかし、今日では諺の理屈をこえた巧みはたとえとして特別な効果を持つものも限定されている。[コトシク, 2019]」『ブリタニカ国際大百科事典』には「昔から言い伝えられた風刺、教訓などを含んだ短句。その種類や目的とするところは多様であるが、概して比喩をもって人を戒めたものが多い。「下手の道具調べ」「話上手の仕事下手」のたぐいである。この例によってもわかるとおり、間接的表現をとりながらも面罵以上の効果を相手に与えることになる。また諺は、天候や農業、漁業の知識や技術を教えたものも多い[コトシク, 2019]」と定義される。

一方ではアラビア語の『アル・ワシート辞書』には諺は「文章化した抽象的な話である。ある人の人柄を描写し、例えられた人とその似たような性質を持っている人に例える。人々の話から引用された簡潔な文章であり、ある人の人柄を描写し、同じ人柄を持っている方々に対して使用する (Almaany, 2018)」と、『ことわざと俗言の百科事典』には「伝統的な文化は、ある社会の人々の心理的および感性的な側面を反映しているため、民族の研究の最も重要な

アプローチの一つである

。諺は、この文化の最も重要な要素の一つで、それは人々の知識の基礎を表しているからです。伝統的な文化は、ある民族の研究の大事な入門であるとみなされている」と定義される。

また、17世紀の英国の歴史家、作家ジェームズ・ハウエルは諺について「Shortness (簡短)、Sense (意義) Salt (鹹味) の三者 (3S) をその要素とすると、人の心を刺激して、長くその記憶に留めるために簡潔にして辣味があることを要する。」とのべた。同国の作家ウィリアム・ペンは「国民の嗜好は、諺の中にある。諺を集めて学ぶがよい。諺は時間と口数の節約ともなり、時々は、もっとも安全確実な答えとなることもある。」とも述べた。森洋子著『□□リユー□□ル諺の世界 民衆文化を語る』では「諺は、人□□い□□出し、二人□□うな□□き、千人□□使い、万人□□なるほど、と受けとって、長い年月、多くの人々の間に生きてきた教え、戒め、あてこすりをふくむ□□、短い文章□□ある」と述べられている。さらに諺を信教的な精神面から解こうとしている説もある(北嶋藤郷 2021)。

総じて言えば、諺はある社会に生きている人間たちがある物事に対してどのように行動すれば良いのか、どのように考えれば良いのかという教訓や戒めを表している。その社会の人々がそれに沿って行動すれば正解であることを思い込む傾向がある。つまり先代から伝わる知恵(諺)はある民族の考え方や行動態度に影響を及ぼすと言っても過言ではない。要するに上記の諺のあらゆる定義や特徴からある社会の集団思考の形成される諺が与える大きな影響が明らかになるだろう。

2.1.研究方法

本研究では、エジプトの「ことわざと俗言の百科事典」と日本の「故事とことわざの辞典」に収録されているエジプトと日本のことわざを対象として、その中に表されている女性像を分析することをめざす。本研究では、女性像がなおおく二つに分ける。

①特定の役割ある女性つまり、社会的役割(妻、娘、姉妹、姑等)、②役割が特定されていない一般的な女性、女性という概念その存在、つまり性格、特質などの属性、美しさ、化粧などの容姿に関することの2つのカテゴリーに分類する。さらにそれらを人間性の視点から肯定的、否定的、中立的、3つの基準を大別する。それによって女性の社会的、経済的、文化的、知的なイメージを明らかにしておきたいと思う。

2.2. 諺の分析、分類

上記のように諺の研究を通じてその国の文化、習俗などを見ることができる。また、諺における女性像の研究を通じて、その国、あるいはその社会の集団意識をより深く理解することができる。さらに、社会の女性に対する視点や観点が明らかになる。これから女性に関する諺を分類し、その説明をまとめて、記述的、数量的分析を行っていく。上記エジプトと日本の辞書の諺から女性に関する語（女性、夫人、女子、少女、姑、妾、娘、妹、妻など）を含む諺を抽出した。上記の6巻によって14,842個収録されるエジプトの「ことわざと俗言の百科事典」からは女性に関する項目を724個抽出した。ただし、意味的に重なっているいわゆる類義的表現を一つの諺と見た。また、女性に関する語を含む諺であっても、女性の特徴を表していないものが対象から除外した。一方で、女性に関する語が含まれていなくても、内容が女性にかかったら女性を扱った諺に入れることにした。そうすると、女性を扱った諺の総個数は211個となる。また、アラビア語の諺が、アラビア語の表記に合わせて日本語の意味の転入にした。同様に5,000個収録される日本の『故事と諺の辞典』からは、女性に関する諺が590個抽出し、上記のようにしてさらに214個までを剔出した。

2.3. 判断基準

上記のように女性が扱った諺が2つのカテゴリーに分類した上で人道的な視点から肯定的、否定的、中立的、3つの基準で大別する。いうまでもなく、肯定的であるか、否定的であるか、中立的であるかという判断基準は人によって違うかもしれない。しかし、本研究ではフェミニスト的立場を採っていくつもりはない。本研究では、筆者が人道に基づいた基準で判断していきたい。

つまり、諺の上では、人間である女性が動物や物質などの人道に背くような、軽蔑的な意味合いのある諺や、自己決定の自由を奪い、他人の都合のよい特定の役割を強制的に位置付けさせるような諺は否定的と判断した。一方で、良し悪しを問わずに人間性、性質を描写するような諺は中立的と判断した。そして、それら以外は肯定的と判断した。

最初女性が社会においてどのような役割が位置づけられたのかを考察していく。

3. 社会的な役割

本項目ではエジプトと日本の諺における女性の社会的な役割・役目はただ、姑であり、娘であり、妻であり、義理の姉妹であり、第二目の妻であり、継母であるという社会的な役割に限らず、社会における女性の職業、経済的なイメージ、価値なども明らかにしていく。次に女性のそれぞれの役割を表す諺を分類し、解釈や分析していく。

3.a. 姑

埃	日
肯定的	肯定的
1. 姑が婿が大好きだ。	1. 嫁を憎み、我が子を思え。
2. 外姑が好かれたら優しく扱ふ。	否定的
3. 夫婦の関係が上手くなったら姑との関係が上手くなる。	1. 姑が憎なりや夫まで憎い。
4. 姑とその娘が好かれて天国だ。	2. 姑と嫁と仲の良いのは物怪の内。
5. 姑が好かれて何よりだ。	3. 秋茄子嫁こ食わすな。
否定的	4. 姑こ拙縫なし。
1. 外姑が嫌いだと問題が起こらない。	5. 姑の気に入る嫁は世が早い。
2. 厄介な外姑の娘を離婚しよう。	6. 姑の仇を嫁が討つ。
3. 外姑と婿との関係が悪いだ。	7. 姑の場塞がり。
4. 強い姑こ罵られる。	8. 姑の前の見せ麻小す。
5. 姑の夫婦のお宅の頻繁の訪いは夫婦喧嘩の原因だ。	9. 姑の三日誉め。
6. 姑が危害の元だ。	10. 姑は年が寄るほど醜い。
7. 姑は空の女王であったとしてもなほお災いを招く存在だ。	11. 姑は嫁の古手。
8. 相変わらず態度悪いお婆さん。	12. 嫁と姑の仲のよいのは物怪の不思議。
9. 相変わらず態度悪い嫁だ。	13. 嫁と姑も七十五日。
10. 嫁がどうしても姑こ嫌われる。	14. 嫁を貰え、お姑を貰え。
11. 姑は本能的に嫁が嫌いのだ。	15. 嫁の留守、姑の正月。
12. 嫁と姑はお互いこからかい合う。	16. 娘でも嫁と名が付きや憎うなる。
13. 宅こいる姑より、火こ焼かれてました。	17. 嫁と姑犬と猿
14. 苦労して育ったのに、自分の息子が他の女性を	18. 嫁と名が付きや我が子も憎い。

世話することにした。	
15. 姑がずる賢い。自分が彼女よりずる賢いだ。	19. 娘でも嫁と名がつきや憎なる。
16. 叔父さんが好くべきだか姑を散々罵るべきだ。	中立的
17. 姑と義理の姉妹は最悪だ。	1. 嫁 姑とこいる。
18. 発言しない 姑が物事を眺める。(夫婦の生活に無断で干渉するということを指している)	2. 姑の後 嫁が継ぐ。
19. 姑が嫁を一向に好きじゃない。	3. いじりいじり嫁で掛かる。
20. 姑が最悪だ。	
21. 婚姻における (棘) 困難は姑である。	
22. 医者への訪問は姑の訪問より多いです。	
中立的	
1. 外姑を味方とするのが無難だ。	
2. 妻との関係が上手くいくために、外姑を妻より世辞を言うべきだ。	
3. 嫁よりすれ姑になる。	

表1・両国に見られる姑に関する諺の数の比較

個数	埃	日	個数	埃	日
総個数	30	23			
夫側個数	11	--	妻側個数	19	23
肯定的	4	--	肯定的	1	1
否定的	5	--	否定的	17	19
中立的	2	--	中立的	1	3

上記のようにエジプトの姑に関する諺の総数は30個である。日本の23個である。『日本大百科全書』（ニッポニカ）において 姑とは「舅」は夫の父、妻の父は「外舅」（がいきゅう）、姑は夫の母（妻の母は外姑（がいこ））であるが、日本ではすべてを「しゅう」とよび、とくに夫の母（姑）をおもにさした[コトバンク, 2020]。つまり、姑と言っても、夫側の姑（姑）と妻側の姑（外姑）がある。上記のように日本の諺が外姑のことが取り扱わなかったが、エジプトの場合は30個の中11個が外姑のことを指している。

そのうち、肯定的な諺が4個であるが、すべてが条件付きである。外姑に好かれるように婿妻を好きにならなければならぬという条件である。中立的2個、否定的5個である。妻側の総個数は19である。肯定的なのは1個、否定的17個、中立的1個である。つまり、夫と妻側を合わせて肯定的なのは5個、否定的は22個、中立的3個になる。一方で、日本の諺の総個数は23個である。肯定的は1個、否定的19、中立的3個である。両国の諺は共通に嫁姑と婿姑の悪い関係前提とした。また、嫁に対する姑の敵対心が一般であると表している。上記の表を表しているように数量的分析をすると、エジプトと日本の社会においての女性である姑が否定的なイメージの持ち主だということが明らかになる。

3.b.妻

埃	日
肯定的	肯定的
1.妻が温もりの元だ。	1.妻子珍宝及王位。
2.妻を置くところが敬郷。	2.妻子は世帯の錘
否定的	3.冬の火嫁家ごとかせよ。
1.妻は夫から。	4.妻の恥は夫の恥。
2.夫が妻を優しく扱うが従わぬ。	5.女房御公法
3.妻を脅したほうがよい。	否定的
4.夫唱えて妻随う。	1.家の乱れは女から。
5.人の前で妻に謝らぬで。	2.夫に素顔みせぬ。
6.妻が激しく扱ってください。	3.夫唱えて妻随う。
7.夫が汝違ひなれ、ろは秘密を守れ、妻が敵である。	4.嫁御十年。
8.夫に妻が嫉妬深くすべき。	5.貞女立て間男したし。
9.辛抱強、妻が末永くしあわせに。	6.嫁ま手を見て貰え。
10.広々住宅、素早い馬、従順な妻はアッラに祝福される。	7.夫の七度去るまで嫁を出ぬもの。
11.嫁を教うるは初めにせよ。	8.夫の前の見せ麻小け。
中立的	9.夫外を治め妻内を治める。
1.嫁を迎えるにあたっては男が苦労すればするほど	10.男は其に余れ女は華御に余れ。

どのおさら女性の価値を感じる。	
2.妻を馬鹿にしたら周り人からかわれる。	11. 女に七去あり。
3.夫が冗気な妻が好き近所が寛容な夫人が好き家族が途持ち夫人が好き	12. 女の夫をたげかるには男の知恵は増す。
4.悪妻の死亡は損である。言うまでもなく良妻の死亡は更なるだ。	13. 夏の火は嫁を焚かせよ。
5.妻が夫に愛されると自慢する、夫に貶されると人々に軽蔑される。	14. 女房は台所から貰える。
6.婦人は夫の貞操の鑑	15. 妻子は身の怨なり、眷属は心の敵なり。
7.女房は半身上。	16. 嫁と鍋は古くなるほどずるくなる。
8.家こなくてならぬは女房である。	17. 盛りにしては夫に従う。
9. わわしい女は夫を食う	18. 七の子はなすとも (産むとも) 女は心許すな。
	19. 二つ子をなすとも女は心許すな。
	20.何程いやな女房でもいなすれは銭百貫落とした心する
	21. 跳ねる馬と洒落る妻はりながら楽しみあり。
	22. 女房は家の道具
	23. 女房は床の間の檀物
	24.女房と鍋釜は古いほど良い。
	25.女房と畳は新しいほうが良い。
	26.女房と米の飯は助かぬ。
	27.女房と米の飯は行く先にある。
	28.良馬は決して躓かず、良妻は決して不平を鳴らさない。
	29. 女房は家の大黒柱 (固め・宝)。
	30. 鍋蓋と女房は無うて叶わぬ。
	31.嫁と鉢はこせ使い。
	中立的
	1.女房が悪ければ身上も悪くなる。
	2.女房の悪いは六十年の不作。
	3.嫁を教うるは初めにせよ。
	4.良妻は夫を両夫にする。
	5.わわしい女は夫を食う。
	6.女房に惚れては家繁盛
	7. 妻子を置くところが汝郷

	8. 古い女房は足の裏の飯粒。
	9. 女房呼ぶと飯とはなんぼ早うても腹が立たぬ。
	10. 家貧しくして良妻を思い、国乱れては良相を思う。
	11. 家は夏向き女房お滞りさ。
	12. 家に女房なきは火のなき炉の如し。
	13. 姉女房ま子ほかおわがる。
	14. 女房は半身上。
	15. 女房は男の鎮
	16. 妻は縁廻のなかだち。
	17. 男は妻から。

表2・両国に見られる妻に関する諺の数の比較

個数	埃	日
総個数	22	53
肯定的	2	5
否定的	11	31
中立的	9	17

上記の表のように妻についてのエジプトの諺の総個数は22個である。肯定的は2個で、否定的は11個で中立的は9個である。中立的な諺は女性向けの諺が男女を問わず人間の性質を表す諺であるが否定的な諺が女性に対して人間性のない行動を推奨したり、男女間の対立的や上下関係を促したりする諺である。例えば「妻を脅したほうがよい」といった諺の直訳は「結婚日には自分の妻を脅すため彼女の前で猫を虐殺しろ」という暴力的な意味合いがある諺がいくつかある。一方で、妻に関する日本の諺の総個数は53個である。肯定的は5個、否定的は31個、中立的は17個である。否定的な諺の中で妻が根性の悪い存在と強調されている。両国の共通しているところが多い。妻としての女性が受け身、特定の基準を満たさないと悪妻となり、家や夫を支えるものとしてなくてはならない存在だ。また、妻の夫への盲従を求める諺と男女の仕事分担は夫は外、妻が内を唱える諺が多かった。

3.c. 母親

埃	日
肯定的	肯定的
1. 母親のいない人は悲しく、父親のいない人は苦しんでいる。	1. 祈りの師は母をせよ。
2. 育児といえば、一人の子供でさえもどんなに器用である母親にとっても厄介なことだ。	2. 倚門の望み。
3. 三人の子持ち母は笑うて育て一人の子持ち母は泣いて育てる。	3. 女は弱しされど母は強し。
4. 子供は頑丈な母親と嬉しい、父親が必要である。	4. 凱風南よりして彼の棘心を吹く。
5. 常に母親が子供を慰める。	5. 慈母に敗子あり。
6. 母も母なら娘も娘。	6. 母が痩せると子が太る。
7. 母の折檻より隣の人扱いか痛い。	7. 父は天、母は地。
8. 母親の恩恵が一生忘れられない。	8. 母の折檻より隣の人扱いか痛い。
9. 親三分に乳母七分。	9. 母も母なら娘も娘。
10. 母親の勘がいっつも当たるんだ。	10. 父母その子を養って教えざるは、是そその子を愛せざるなり。
11. 母乳がかけがえのないだ。	11. 親三分に乳母七分。
12. 母親がかけぞく全員手厚く集合する。	12. 三人の子持ち母は笑うて育て一人の子持ち母は泣いて育てる。
13. 母の元にいる子の子のことはご心配なく。	
14. 女の子の母が死ぬまで荷が重い。	

表3・両国に見られる母親に関する諺の数の比較

個数	埃	日
総個数	14	12
肯定的	14	12
否定的	-	-
中立的	-	-

上記のように母親についてのエジプトの諺の総個数が14個で日本の諺の総個数が12個である。どちらにも否定的な諺、中立的な諺が見られない。総じて言えば、エジプトとも

日本ともの諺における母親は、子供への愛と教育、母へ敬愛を表すものが多い。要するにエジプトと日本の社会のどちらにおいても母親は社会的優位性を持っていると言える。

3.d.娘

埃	日
肯定的	否定的
1.女の子のいる家庭の生活が豊富だ。	1.糠袋と小娘は油断がならぬ。
否定的	2. 酸漿と娘は色付くと虫が付く。
1.女子を厳しくしつけろ。	3. 娘出世で親貧乏。
2.娘が母親を嫉妬する。	4. 娘の親でつまでも厄介かゝる。
3.オールドミスよりいっそう死んだ方がよい。	5. 小袋と小娘は油断がならぬ。
4.女を産むという事が知ったら喜んだよ。家事で手伝ってくれるから。	6. 盗も五女の門を過ぎらず。
5.男子が壮産した方がよい。	7. 一姫二太郎。
6.娘がつまでも厄介かゝる。	8.嫁が甲から娘を乞う者に呉れる。
7.娘の死がよい。	中立的
8.人前で恥をかかせられないように娘の死がよい。	1. 娘を見るより母を見よ。
9.人前で恥をかかせられないように娘の婚姻がよい。	2. 娘一人に婿八人。
10.息子の失敗より娘の失敗の方がよい。	3. 一人婿の可愛さとおいどの痒いとは堪忍ならぬもの
11.娘の責任が重くてたまらない。	4. 十五六の娘は箸の倒れたのもおかしがる。
12.娘が馮の骨と結婚し得る。	
13.女の子が父親の一生の厄介な存在だ。	
14.娘が不要だ。	
15.女子の父親が物乞いだ。	
16.女子の父親は油断がならぬ。	
17.女子の父親が婿で操られがちだ。	
18.女子たちが災の元だ。	
19.女子の淫らさが奇麗だ。	
20.女子は猫のように九生あり。	
21.女の子を束縛して、満喫な家庭へお嫁を送れ。	
22.家庭で人女の子より二匹のさぞりがいるのがまだ。	
23.男の子の母親が賢いであり、女の子の母親が泣き虫である。	

24.娘多きはずるいお婿おかり。	
25.女の子の母が死ぬまで荷が重い。	
26.婿一人に娘八人。	
27.一姫二太郎。	
28.娘は結婚以外将来がないだ。	
29.娘がいない母親は手云いものがない。	
30.娘がいないと切がない。	
中立的	
1.娘は婿を探す。	
2.女の子が遅いなあ。	
3.子供を授かるのなら区別なく女の子でも男の子でもいいんだよ。	
4.女の子の飾りが優雅であり、女性の飾りが黄金である。	

表4・両国に見られる娘に関する諺の数の比較

個数	埃	日
総個数	35	12
肯定的	1	-
否定的	30	8
中立的	4	4

上記の表に見られるように娘についてのエジプトの諺の総個数は35個である。肯定的は1個しかない、否定的は30個で中立的は4個である。一方で、娘に関する日本の諺の総個数は12個である。それらのうち、娘が大金をかかってしまう存在という意味的に重なった諺が9個で、娘が「母親の育てがら」という意味を表している諺が3個あった。それぞれを省いて総個数が12個になる。肯定的は一個もない、中立的は4個、否定的は8個である。娘に関しての日本とエジプトの諺に共通するのは、娘の出来が母の育て次第である。娘の魅力や価値は家庭の「内」的な、家事の事をやりこなしにある。また、娘は非常にお金がかかる存在である。娘は傷つきやすいので親は目が離せなくて常に注意してなくてはいけぬ。つまり娘は「油断がならぬ」存在であり、厄介をかかせる存在である。エジプトの諺ではことに娘が素行不良にならないように厳しく扱うべき、恥をかかせる存在で生きるより死ぬがまし、娘に対して暴力的な待遇が薦められている。

3.e. 継母

	埃	日
1	継母に好かれるなんて無理な話だ。	継母の嘲笑い。
2	継母に接して初めて母親の良さが分かる。	くれそうとくれぬは継母と春の日。
3	継母が消えてほしいなあ。	
4	継父がカメレオンで継母が悪魔である。	

エジプトは日本と違って、継母こぼつのパターンがある。1つ目は、子どもがいる男やもめが結婚する女のこと、2つ目は、離婚した男と結婚する女のこと、3つ目は、男が「第一夫人」を結婚したまま結婚する女のこと、いわゆる「第二婦人である。継母こぼつてのエジプトの諺の総個数は4個である。継母こぼつての日本の諺は2個しかない。全てが否定的である。

3.f. 継室

埃
1. 正室が情なくて継室の利益のため節約する。
2. 継室がいると正妻が体裁を整える。
3. 継室がいると苦痛だ。
4. 他人のご主人を盗む女が情ないだ。
5. 正室は継室が大嫌いで彼女の不幸や死去を願う。
6. 既婚の男を誘惑して再婚させる女が淫らだ。

日本では一夫多妻制がいわゆる明治民法において禁止されたが、エジプトではまだ残っている諺でも取り上げられているが、どちらかというとも継室のことは現在のエジプトでも望ましくない存在であると言える。エジプトに取り上げられた継室は男が第一婦人と結婚したまま第二婦人と結婚することを指している。アラビア語での名称は害という意味をする。上記の諺を見ると継室という存在に悪評のある存在であることが明らかになると思う。

3.g. 義姉と小姑

埃	日
1. 義姉同土犬猿の仲だ。	1. 姉姑は鬼千匹、小姑は鬼十六に向かう。

エジプトの諺上で取り上げられた義姉は夫の兄弟の妻のことを指している。一方では日本の諺上で取り上げられた姉姑及び小姑は夫の姉と妹のことを指している。両者ともイメージが良くなくて厄介な存在と思われる。義姉と小姑についての日本とエジプトの諺の総個数を順番で3個と4個である。全てほぼ同じ意味合いなので1個として取り扱った。

3.1. 役割が特定されていない一般の女性

埃	日
肯定的	肯定的
1. 女性が傷つけしていない。	1. 女は開き。
2. 女性が恵だ。	2. 女ならではの夜が明けぬ。
3. 悪い結婚生活よりオールドミスになる方がましだ。	3. 饅頭蕎麦より鼻の傍。
否定的	4. 女は国の平らげ。
1. 女心と秋のそら。	5. 恋の道は女が賢しい。
2. 女性にとって阿保男の方が都合がいい。	6. 女世帯の花が咲く。
3. おなご寿れば姦しく。	7. 遠く近きは男女の中。
4. 母育ちで甘茶茶な。	否定的
5. 女性が例え祈りしても信頼できない存在だ。	1. 小豆の塩の辛さと女の気の強さは併無し。
6. 謙婦人に及ぶ。	2. 愛想尽かしは金から起きる。
7. 女性はお口が軽い。	3. 一生の苦楽他人に依る。
8. 男性の嫉妬は望ましいが女性の嫉妬は望ましくない。	4. 一女両家の茶を喫せず。
9. 犯罪の陰には必ず女あり。	5. 命取りとは美女、命の親とは悪女の異名。
10. 女性が悪魔より悪だ。	6. いやじゃいやじゃは女の癖。
11. 女性の狡猾さが男性のを勝る。	7. 男は腰の物、女は衣装。
12. 女性はお口が悪い。	8. 男は天下を動かす、女はその男を動かす。
13. 女性が弱きものだ。	9. 男は度胸、女は愛敬。
14. 女性が何よりお金が好きだ。	10. 男は公、女は謙。
15. 女性はどうすることもできない者だ。	11. おなご賢しく牛売り損なう。
16. 弱者よ女の名は女なり。	12. おなご三人寿れば姦しく。
17. 女の根は地獄の下地。	13. おなごの横腹は百にこなってもない。

エジプトと日本の諺における女性像比較研究

18. 女性に宗教と脳が欠けている。	14. おなごは悪性者。
19. 女性に信頼するな。	15. おなごは男同士。
20. 女性が忘れっぽい、許してあげない、悪の元だ。	16. 女心と秋のそら。
21. 女性が裏切者だ。	17. 鬼と女とは人に見えぬぞ良き。
22. 女性に災の元。	18. 女三人寄りば着物の噂する
23. 女の知恵は花の先。	19. 女同士の角目立つ。
24. 優しい女性がコウモリより不浄である。	20. 女と塩者にすたりはよい。
25. 女性に蛇より危険だ。	21. 女と白魚は手持ちひよつては食えない。
26. 女性に嘆の元だ。	22. 女と坊主に余り物がよい。
27. 女事賢人なし。	23. 女と組柄は無才は計わぬ。
28. 街を滅ぼすのはお人の女性。	24. 女に十二の角あり。
29. 女性に支配したら結果は混乱ばかりだ。	25. 女に白い歯は見せられぬ。
30. 女性に酔乗するな。	26. 女の鬻ご地城を傾く。
31. 男性がなくなると女性が狂ってしまう。	27. 女の賢い東の空肌かきとは当てひよらぬ。
32. 男性が留守だと女性の徳が活れる。	28. 女の堅い肌藜貝ばかり。
33. 夫を抜きにして女が不完全。	29. 女の気の強いのと薬十の強いのとは悪い。
34. 仕事の効果男性が甚だしい女性がわずかだし。	30. 女の猿知恵。
35. 女性が結婚前を焼くことに十分に腕前を發揮すべき。	31. 女の仕返しは三層倍
36. 男性が女性を強制的に従わせるべき。	32. 女の密談と七の段、聞き切れず。
37. 男が仕事、女性が台所。	33. 女の立ち言、種々の元。
38. 嫁しては夫に従う。	34. 女の旅は十里を出でず。
40. 男性を抜きにしては女性が不要だ。	35. 女の知恵は欲が元。
41. イブはアダムの天国から追い出された原因だ。	36. 女の力と首のよい石仏。
42. 女が早く結婚するのが望ましい。	37. 女の手から者をとった出家は五百生の間手のよい者に生まれる。
43. 地獄の火は女性よりよい。	38. 女の長尻。
44. 産めぬ女が客である。	39. 女の根生、蛇の下地。
45. 家事以外相談するな。	40. 女の妬みやきは百の拙きを覆う
46. 男は公、女は藤。	41. 女の語は人里限り。
47. 女性が男の欲を満たすものだ。	42. 女の張る弓、射られず。
48. 女性が無邪気に嘘をつかない。	43. 女の物思うにしようなぞ、男の物ものを案ずるに抑ぐ。
49. 男性にとって女性は無価値だ。	44. 女は会釈に余れ。
50. 安心と手強さをバランスとれた態度で女性を扱うべき。	45. 女は下げて育てよ。

51. 女性で物が強い方が望ましい。	46. 女は躰居を跨ぎながらも七十企み
52. 家ごなくてならぬものはあがり框と女房	47. 女は地獄の使い。
53. 女性より男のまうが寝る。	48. 女は魔物。
54. 女性に男性を従う。	49. 女見るなら忙しし時に見よ。
55. 女性が家事するべきだ。	50. 女童の言う事用へからず。
56. 女が男性に取立て言い返したら舌を切るべし。	51. 外聞、手利き、人拵、世帯、敷金、閨の花。
57. 嫁ごなったら食えない。	52. クレオパトラの鼻がもう少し低かったなら、世界の歴史は変わっていたであろう。
58. 女性が夫の残酷な待遇を恐れる。	53. 嫩石は女の憤り。
59. 好かれた男が嫌い、嫌われた男が好き。	54. 鶏鳴の助 (助か)
60. 外聞、敷金、閨の花。	55. 小娘と茶袋
61. 女性に女性であり、男性に男性である。	56. 妻子は衣服の如し。
62. 女に好かれたにこそしてもどうせ命取り。	57. 酒と女と博奕は揃おろせ。
63. 嫁を教うるは初めにせよ。	58. 大蛇を見るときも女を見るな。
64. よく口論する女性まきつ靴みたい。	59. 狸は入道、狐は女。
65. 女性が太勢いするので大事にしなくていい。	60. 月夜の明かりと女の利口は用立てたぬ。
66. 若い女性と結婚するべき。	61. 哲婦城を傾く。
67. 女性が男性を面倒を見る。	62. 毒蛇を見るときも女人を見るべからず。
68. つぶらな瞳とおちよぼ口は美の特徴だ。	63. 女人に賢人なし。
69. 美女と結婚するべし。	64. 謀婦人に及ぶ。
70. 外は美内は猿	65. 万悪を首とし、百行孝先と巢
71. 女性に背の低めが良い。	66. 犯罪の陰には必ず女あり。
72. 櫛にしても化粧したら美人にふる。	67. 美女舌を破る。
73. 不細工に化粧かかぬ。	68. 美女は命を断つ斧。
74. 白は美の半分。	69. 美女は魂よりも恐ろしい。
75. デブの女が木であり、背の高い女が美女である。	70. 美と愚は好一對。
76. 牛の目のようにぱっちりした目が綺麗だ。	71. 婦に長舌あるはこれの楷
77. 女と米の飯は白い程良い。	72. 女子と小人とは養い難し。
78. 髪は女の美である。	73. 弱き者よ汝の名は女なり。
79. 女性にとって化粧が大事だ。	74. 乱は天より降るにあらず、婦人より生ず。
80. 女性が太めが良い。	75. 怪気嫩石は女の常 (役)。
81. 肌の色が黒い女と結婚しないべき。	76. おまごの念は岩をも徹す。
中立的	77. 世の中は酒と女が藪なり。
1. 親戚との結婚が許能奨されている。	78. 焼餅は狐色。
2. 相応しい夫を見つめるまで結婚し方娘が良い。	79. 令女の節。
3. 女の心は女知る。	80. 鏡は女の魂
4. お嬢さんは綺麗だ。	81. 男子病めば家衰え、女子病めば色衰う。

5. 醜い女でさえも結婚する。	82. 黒子女で知恵男。
6. 女性の操が大切だ。	83. 美人薄命。
7. 女性の操が自分の名誉だ。	84. 女と米の飯は白い程良い。
8. 美女は母を見よ。	85. 一髪二化粧三衣装。
9. 女性こそは良し悪しある。(女房は半身上)。	86. 女は人間を左右こそよ。
10. 女性が活発の方がいい。	87. 化粧物と後家たて済ます女無し。
11. 女性の徳は美より良い。	88. 罷出は五無く、罷女は家無し。
12. 合理的な女性が望ましいことだ。	89. 茄子苗と女は余らぬ。
13. 産婆と理髪師を同時に働く女性お羨い。	90. 嫁の小さいは三台の傷。
14. 美皮一重	91. 髪を結いたては親でも惚れる。
15. 美女保よく食わせる。	92. 河豚の横飛び。
	93. 女は衣装髪型。
	94. おまごは化粧物。
	中立的
	1. 女の心は女知る。
	2. 男の尻で敷き金女房。
	3. 老いて好婦の功を知る。
	4. 美人というも皮一重。
	5. 髪は長きは七難隠す。
	6. 女は目には鈴を張り。
	7. 女の供は年寄りの役。
	8. 女は己れを喜ぶ者の為に容る。
	9. 女の足駄こて作れる笛は秋の鹿寄る。
	10. 女と鯉魚程さほど良し。

表5・両国に見られる役割が特定されていない一般の女性に関する諺の数の比較

個数	埃	日
総個数	99	111
肯定的	3	7
否定的	81	94
中立的	15	10

上の表が表すように一般の女性についてのエジプトの諺の総個数は99個である。肯定的は3個で否定的は81個で中立的は15個である。日本の諺の総個数は111個である。肯定的は7個で否定的は94個で中立的は10個である。両国の諺においては共通点がたくさん

ある。まず女性属性に関しては両国の諺は共通に女性が知識の浅い人間で、悪くて回転が遅くて無能力で飼育した牛は売れるはずなのに、牛を売ることさえできなくてバカである。信頼できなくて口が軽くて大事な秘密を打ち明けてはならない。女性は変わりやすくて気まぐれでわかりづらい。女性が精力的にも体力的にも弱い存在である。内容がないつまらないおしゃべりが好きで口が悪くて嫉妬心が強い(1)。性悪で欲張りで政治や街を滅ぼして犯罪の元である。また、容姿についての諺からは容姿が女性の価値を決める一要素であると見とれる。美貌や化粧が女性にとって大切である。美貌の標準は、長い髪で白色でぱっちりした目、おちょぼ口である。器量の良くない女性でも化粧をすれば美しく見えるようになる。

4・結論

上記のように、諺はある社会や世間の考えを反映する。それを研究を通じて、ある物事に対してその国や社会の考えを窺える。このように、本研究ではエジプトの「ことわざと俗言の百科事典」に収められた女性に関わる211個の諺と日本の「故事とことわざの辞典」に収められた女性に関わる214個のことわざを対象にエジプトと日本の諺において女性がどのように扱われているかを考察した。その結果、数の上ではエジプトと日本の女性を肯定的に扱う諺は同数の25個である。否定的なものも同数の155個である。中立的なのはエジプトは31個で日本は34個である。これを見るとエジプトと日本の女性を扱った諺が否定的な意味合いの諺だけでなく肯定的な意味を表す場合もあるが女性に関する諺の約7割が否定的であることがわかる。つまり、女性を扱った否定的な諺は圧倒的に多いである。

4.1.女性名称

両国の女性に関する諺で見られる女性名称を対照する結果、エジプトの諺で見られる一般の女性及び妻を指す名称「マラ」は俗っぽくて女性に対する蔑視意識を強く反映することが明らかになる。一方では日本の諺で見られる女性名称は女性の役割領域をあくまでも「家の中」と制限することも明らかになった。それは今日にも日常生活の中で依然としてその生命力を保ち続けている。また、エジプトの諺こしか見られない独自の女性名称もある。それが「継室」と「義姉」である。上記では何何を指しているのかを解説した。一方では日本の諺こしか見られない女性名称も二つある。「姉女房」と「小姑」である。「姉女房」は男より年上の妻のことを指している。日本では「姉女房」高く評価されている。「小姑」は上述のように夫の妹を指しているながら嫁ご苦しみを与える姑と同様に小さい姑ということも指している[秀真 2001]。

4.2. 社会的な役割

両国の諺に見られる女性には特定の社会的な役割がある。その一つが姑である。上記のように姑という存在は否定的なイメージを持っている。彼女は同性でもある嫁を嫌がらせる。いかに姑は嫁だった時の苦しみ、その分を今嫁になった女性に返すようだ。つまり復讐の念に燃える姑という女性のイメージは根性の悪い人間ということを示唆する。両国の諺において妻に対する軽蔑意識が強く感じる。妻が一人では立てない。一生男性に依存するという認識がある。夫に服従すべきということを女性に呼びかけが多い。女性が夫の付属物及び性的欲望の対象物であることも示唆する。娘という女性の社会的な役割は姑と妻と同様に否定的に評価される。娘を扱っている諺にも女への偏見も見られる。要するに両国の諺に見られる女性の社会的特定の役割の中「母」という役割以外は否定的に評価される。母は家庭内では大切な存在であり、優位の地位を持って、母性が尊重されている。つまり両国の女性に関する諺の全般を通して女性を高く評価したものは極めて稀であるものの、女性の母性愛に限っては両国とも肯定的認識を示している。また女性は大切な存在であることを取り上げられた諺は多くあるが全てが家庭内においての大切さを訴える。家庭内で果たす役割においては大切な存在であるという認識がある。つまり女性の主な役割領域は家庭内と強調されている。女性と社会の求める理想的な女性像は合わないが評価されないことを示唆する。社会が望む女性像は家で育児、家計をうまくやりくりすることなどである。女性の世界は家の中「内」に位置付けられている。またことわざに見られる女性の職業は娯楽や美容に関する職業に限られている。両国の諺において女性は家の外では果たす役割は見当たらない。

4.3. 容姿と属性

女性に求められているのは美人でいられることです。女性と美貌の関係を形容する諺は少なくない。容姿によって女性の価値が決められている。美人であればあるほど高く評価される。それと同時に美人は危ない存在として取り扱われている。美人に惚れると健康をなくし、寿命を縮み、身を滅まし、政治や城までも乱してしまうと考えられる。また女性は両国の諺においては性悪で災いの元と描かれている。女性一般の特性を否定的に捉えている諺の多さや諺から読み取れる女性に対する社会的期待、評価基準を考慮すると、数量的に示される以上に、女性が低く評価されていることが分かった。

19世紀までエジプトの社会でも日本の社会でも男尊女卑思想が根柢あったが近代化とともに人道主義では人々の平等などが謳われ、それに対応した政策や法が次々と成立していくが、この思想の根柢はことごとく残ったと言える。民族の思想が浸透しなかった。エジプトと日本の口承文芸における女卑が現社会でもいまだに残っていて、民族の間に潜在的には存在し続けていると考えられる。

両国の諺における女性像は文化と社会によって作られたイデオロギーを反映したものである。社会的、文化的につくられた女性の特徴、ある□□き姿□□あると同時に、社会的に期待される規範なの□□ある。そのイデオロギーは社会の中に浸透し、受け入れられている。諺に反映された理想的な「女性像」は社会文化のイデオロギーであり、かつての時代では当たり前の価値観であった。急速に変化する今日の社会でかつての時代の古くさく現代に合わない基準を採用して女の理想像を作るのは人間性の原理や人道主義に明白に違反すると言っても過言ではない。そのような人道主義を違反する諺を再考察する必要がある。

11

両国共通に女性は嫉妬心が強いであってそれが否定されてると同時に嫉妬が求められているという諺もあった。

参考文献

Abouel. Lail, Khalid : ‘ alsha ‘ bi wa almarã almasriya alqahera 2014.

北嶋

藤那「英語・米語のことわざと日本の俚語との比較について」敬和学園大学研究紀要、第21号、2021年。

宮偉『日本のことわざからみる女性像の現在』中央学院大学社会システム研究所第14巻1号、2013年、P.19～28

春花『モンコル語と日本語のことわざにおける男女の意識とその変化
コエンコ一の視点から』東北大学、2012年。

楊立国・蘇卓『四字熟語・ことわざの相違点に関する中日比較研究』岡山商科大学、第46巻第2号、2010年。

朴侏玄『深韓流からみた韓国事情(第5回)深韓流-
韓国の「ことわざ」からみる姑の像(3)』東アジアへの視点:
北九州発アジア情報21 (4) 2010.12p.69～78

Sha'lan Ibrahim msw 'eh alamthal alsh 'ebyh dar alafaq al 'erbyh
alqahrh algoz '(1-6).2003.

Sha 'lan Ibrahim alsha ' b almasry fi amthalho elsha ' bia alqahera
2004

金秀眞『日韓両言語における諺の対照比較研究:
男性観と女性観を巡って』国際協力研究誌第8巻第1号、2001年。

厨子光正“アメリカのことわざの中の女性”静岡大学情報学研究5, 31 Mar. 2000,
pp. 23-40., doi.org/10.14945/00005118

金秀眞『日・韓国語の諺に見られる女性名称の対照比較研究(2):
特徴的女性名称に対する形態上の特性考察』HU Journals/Nidaba/Issue 30
2001、124-133 <https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00048089>

鎌田正・米山演太郎『漢語辞林』1999年。

監修・村石昭三『国語辞典』くもん出版、1996年。

Hiroko Storm Women in Japanese Proverbs Asian folklore studies, Volume
51, 1992:167-182

尚学図書『故事ことわざの辞典』小学館、1986年。

第三版日本大百科全書(ニッポニカ)図書館情報学用語辞典世界大百科事典内言及
ブリタニカ国際大百科事典

小項目事典デジタル大辞泉流通用語辞典世界大百科事典 第2版大辞林

“情報(じょうほう)とは” コトバンク, 朝日新聞社,

kotobank.jp/word/%E6%83%85%E5%A0%B1-79825.

<https://www.almaany.com/ar/dict/ar->

[ar/%D9%85%D8%AB%D9%84/?c=%D9%85%D8%AE%D8%AA%D8%A7%D8%B1%20%D8%A7%D9%84%D8%B5%D8%AD%D8%A7%D8%AD](https://www.almaany.com/ar/dict/ar-ar/%D9%85%D8%AB%D9%84/?c=%D9%85%D8%AE%D8%AA%D8%A7%D8%B1%20%D8%A7%D9%84%D8%B5%D8%AD%D8%A7%D8%AD)